

～ 健口と輝く笑顔のために～ ASSOCIATION

# 歯科衛生だより

発行人/吉田 直美  
 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会  
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19  
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023  
<https://www.jdha.or.jp/>

2024 December vol.84

## 日本歯科衛生学会 第19回学術大会 ライフコースを通じた健口文化の醸成

主催：日本歯科衛生学会／公益社団法人 日本歯科衛生士会  
 共催：一般社団法人 新潟県歯科衛生士会  
 後援：新潟県／新潟市／一般社団法人 新潟県歯科医師会／一般社団法人 新潟市歯科医師会

標記タイトルをメインテーマに「日本歯科衛生学会 第19回学術大会」が、2024年9月21日(土)～9月23日(月・休)の3日間にわたり、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催されました。会場参加者は1,411名、企業展示32社が参集され、研鑽し、交流を深める場となりました。

新しいプログラムとして、第1回専門領域別・研究集会在開催され「歯科衛生士の活動を学術へー各専門領域の現在地を確かめるー」をテーマに、3分野から各2題の発表がありました。

会員より口演41題とポスター97題の発表、特別講演、教育講演、シンポジウム、県民フォーラムなど多くのプログラムがありました。後日、オンデマンド配信もあり、会員が全国から参加可能となりました。詳細や画像については、日本歯科衛生学会ウェブサイトをご覧ください(2024年9月20日にリニューアルいたしました)。



また、学術大会期間内に、「全国病院歯科衛生士連絡協議会」、地域歯科保健に従事する歯科衛生士を対象とした「フッ化物洗口取組事例報告会」が開催されました。



### 県民フォーラム 新潟清酒の魅力と酒造り

新潟県では「にいがた健口文化」の醸成を目指し、食べることは生きることのローガンのもと、県民の健康意識の向上を育んできました。

第6回学術大会を新潟で開催した際のテーマは「健口文化の創造」でしたが、第19回学術大会では前回のテーマを継承し「健口文化の醸成」といたしました。テーマの一部である「醸成」は、新潟県が誇る酒造りの文化に共通していることから、県民フォーラムでは新潟県酒造組合 需要振興委員長齋藤 俊太郎氏より「新潟清酒の魅力と酒造り」という内容でご講演いただきました。

新潟県の酒造りの特徴として、高い山々から流れる雪解け水を広大な水田地帯にくまなく運び、米どころとして栄えたことがあげられます。豊富で良質な水と原料となるお米の調達が可能であったことから、県内には満遍なく酒蔵が点在し、それぞれで特色のある酒造りが行われてきた歴史があります。

酒造りにおける技術面では、日本酒を専門に研究・指導する醸造試験場の存在が新潟県の特徴です。各酒蔵の杜氏たちが歴代培ってきた技術を科学的に解析し、データ化することで醸造技術を確認するとともに、次世代の人材を育成するために新潟清酒学校を創設しました。

新潟県酒造組合主催の「にいがた酒の陣」は、20年間継続されている一大イベントで県内の酒蔵の9割以上が一堂に出店し、全国から日本酒愛好家が集まります。近年の客層の半数は女性で、20代から30代の増加が顕著である点に興味を持ちました。日本酒愛好家と直にふれ合う「にいがた酒の陣」の存在が、酒造りに対する蔵元さんたちの情熱をかきたてる一助になっていることがわかりました。

新潟で古くから恒常的に行われてきた酒造りは、慣例的な営みと思っておりましたが、自然と地形の恵みの活用や、次世代への知識と技術の伝承、人材育成といった酒造りの専門家によるたゆまぬ努力と情熱のたまものであることが理解できた県民フォーラムでした。歯科専門職としてもそのような取り組みの重要性を再認識する良い機会となりました。

(一般社団法人 新潟県歯科衛生士会 会長 薄波 清美)

新潟県酒造組合  
 需要振興委員長  
 齋藤 俊太郎氏



# 地域歯科衛生活動支援研修会報告

## —「赤ちゃん・子どものお口の発達支援ガイド」研修会—

地域で活動する歯科衛生士をはじめ、保健師、栄養士など、関係職種の皆様と共通認識のもとに、乳幼児期の食べる機能の発達を支援できるよう、2024年6月、『赤ちゃん・子どものお口の発達支援ガイド』を作成しました。この支援ガイドが日々の業務などで広く活用されるよう、また、使用方法を周知するために、ガイドを監修していただいた講師による研修会を開催しました。

- 【日時】令和6年8月4日(日)10時00分～12時00分
- 【方法】オンライン開催(Zoomウェビナー)
- 【内容】「乳幼児の食べる機能の発達とその支援」
- 【講師】昭和大学歯学部小児成育歯科学講座  
客員教授 井上 美津子先生
- 【受講者数】284名
- 会員に対しては生涯研修の単位取得の対象とした。
- 研修会を録画し、期間限定のオンデマンド配信をする。

研修会は、日本歯科衛生士会の会員をはじめ、都道府県行政にも周知をしたため、会員外他職種も受講されました。受講者の事後アンケート結果を中心にご報告します。

事後アンケート回答者数は249名(会員184名、会員外65名)で、回答率は87.7%でした。アンケート回答者の内訳は、会員が73.3%、会員外は26.1%でした(図1)。

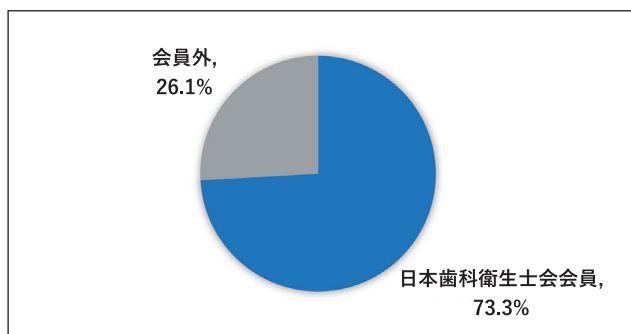


図1: アンケート回答の会員割合

職種は、歯科衛生士が86.3%、栄養士が8.0%、保健師4.0%でした(図2)。

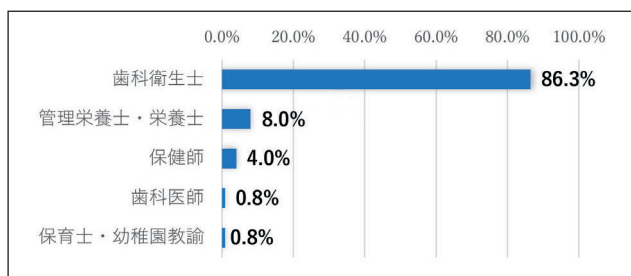


図2: 回答者の職種

主な就業場所は、都道府県・区市町村が47.0%と最も多く、診療所31.7%、病院7.2%、教育機関1.6%、その他12.4%、その他の内訳は、介護保険施設や障害者施設、フリーランスや複数の場所に就業している方など、さまざまでした(図3)。

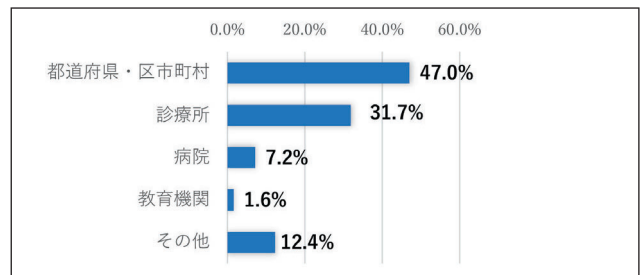


図3: 主な就業場所

研修会の内容の理解度は、「理解できた」、「まあまあ理解できた」とで98.8%(図4)と、ほとんどの方が理解されていました。業務への必要度と活用度は、「必要である」、「活用できる」がともに78.3%と同数でした(図5、6)。

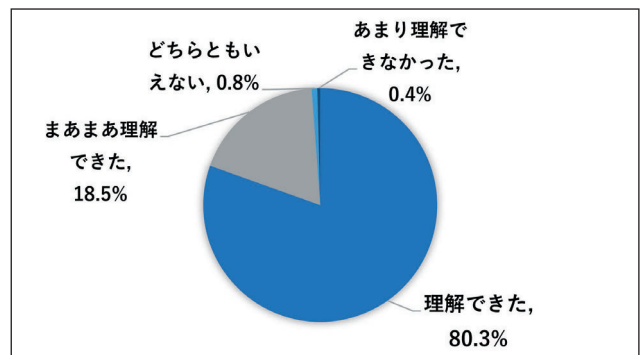


図4: 研修内容の理解度

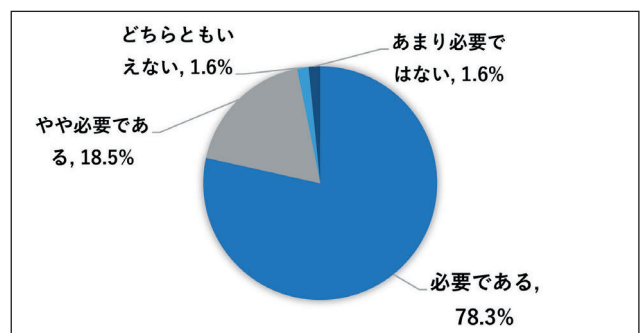


図5: 研修内容の業務への必要度

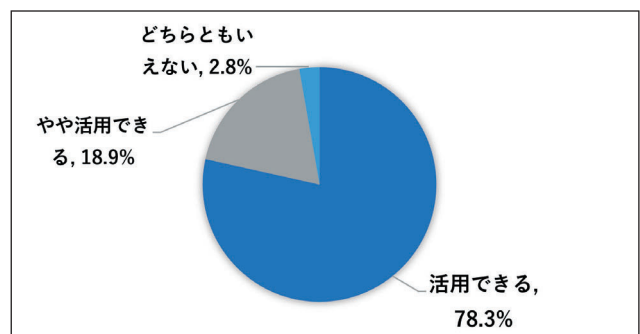


図6: 研修内容の業務への活用度

研修で参考になったこと、業務に活用したいことの自由記載からは、基本的なことを理解し、その上で具体的な指導に活かせる研修会であったことや、多職種との連携の必要性を改めて感じられたことがうかがえました。以下、主な意見です。

- 離乳食を食べないという一つの問題に対して、機能的、環境的な問題も絡み適切に判断して助言するには、多職種との連携が必須だと感じた。
- ネットなどでの情報過多のなか、最近は離乳食をなかなか進められない保護者も増えている。口腔内の状況や発達状況、環境も含め、多職種と連携しながら支援していきたい。
- 口唇閉鎖、鼻呼吸などが離乳食摂取に影響を及ぼすことが理解でき、背景を把握することが重要だと感じた。
- 離乳食の支援で口腔機能はとても大切だと理解していたが、子どもの状況に合った具体的な助言内容を聴けて良かった。
- 歯の生え方が遅いお子さんへの対応が、参考になった
- 高齢者の摂食嚥下に携わっているが、乳幼児の口腔機能の発達を学ぶことで、高齢者の嚥下がより理解できるように思った。
- 地域の歯科医院へつなぐために、このような良いツールがあることを発信していき、皆で学ぶ機会を持ちたい。
- 専門機関へつなげるべきか否かの判断について大変参考になった。

今回の研修会のオンライン開催について、遠方の方や子育て中などの事情で集合研修には参加しにくい方からも受講しやすいと好評だった一方で、オンデマンド配信を事前に公表していたため、当日受講しない方もいたのではないかと、この点は否めませんでした。しかし、受講者から職場などで情報を共有する機会や、再度復習し理解を深めたいという意見も寄せられたので、オンデマンド配信を支援ガイドの活用促進に有効活用していただきたいです。

支援ガイド作成は企画から完成まで2年にわたりました。撮影、イラスト制作にご協力くださった方々と、監修・研修会講師として丁寧にわかりやすくご指導くださった井上美津子

先生に、心より感謝申し上げます。

食べる機能の支援に関する学びの場やツールは、育児支援という観点からも、需要が高いことがわかりました。母子歯科保健に携わる専門職が連携し、お子さんが「食べるのが楽しい」と感じるような関わり方ができるよう、今後も地域保健の現場が必要とされることを企画していきたいと思っております。

## オンデマンド配信のお知らせ

研修会の録画を期間限定で公開しています。ぜひ、ご活用ください。

【期間】令和6年10月1日から12月31日まで

【申込】不要

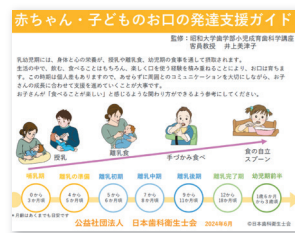
※オンデマンド配信は生涯研修単位の取得にはなりません。

[https://www.jdha.or.jp/outline/hattatsushien\\_video\\_9.html](https://www.jdha.or.jp/outline/hattatsushien_video_9.html)



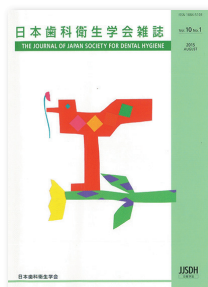
## ガイド紹介

<https://www.jdha.or.jp/outline/hattatsushien.html>



(公益社団法人 日本歯科衛生士会 地域歯科保健委員会)

## 「日本歯科衛生学会雑誌」電子ジャーナル化



現在の学会雑誌（紙媒体）の表紙

日本歯科衛生学会は、学会雑誌を2025年8月発行予定の20巻1号から電子ジャーナル化することを予定しています。これにより、紙媒体の提供を廃止し、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営する電子ジャーナルプラットフォームであるJ-STAGEで公開を行います。主な理由は、迅速な論文の掲載とアクセスの容易さ、紙媒体の雑誌発行経費の削減による会費の有効活用です。また、本学会は「公益社団法人」である日本歯科衛生士会内に設置されていることから、幅広く会員外へ情報提供する使命があり、電子ジャーナル化することでこれまで以上に多くの職種の方に情報を提供することが可能になります。電子ジャーナル化のメリットとしては、いつでもWeb上で雑誌を閲覧でき、論文を即時にダウンロード可能であること、運営コストの圧縮、他職種へのアクセスの容易さが挙げられます。一方、デメリットとしては、電子媒体に不慣れな方々には不便を感じる可能性があります。

電子ジャーナル化にあたり、2024年7月から9月まで日本歯科衛生士会のサイトでご質問や要望などのアンケートを行うとともに、新潟県で行われた日本歯科衛生学会第19回学術大会のポスター会場に来場された方にもご意見を伺いました。その結果、多くの方に電子ジャーナル化と紙媒体雑誌の発行廃止にご理解をいただいております。ご意見として、電子化されると空いた時間で論文を読むことができる、雑誌の管理が楽になるなどご賛同いただくものが大半を占めていました。しかし、学会抄録については紙で配布してほしい、会費を払っているのに紙媒体を希望するなどのご意見もありました。懸案事項が多いですが皆様のご意見を伺いながら、本学会雑誌の電子ジャーナル化を進めてまいります。日本歯科衛生学会では、電子ジャーナル化にあたり、さらなる歯科衛生士の実践に根ざした学術研究成果の発表および普及、啓発を推進してまいります。

日本歯科衛生学会ウェブサイト：<https://www.jdha.or.jp/jsdh/>

日本歯科衛生学会 編集委員会





全国各地から 北海道歯科衛生士会

## 生涯を通じた口腔健康管理の推進ならびに 歯科衛生士の職業PR事業

HOKKAIDO



### 事業の目的

この事業における目的は2つあり、1つ目は口腔機能・食育に関する情報を提供し、より多くの世代に口腔に関心を持ってもらうこと。2つ目は歯科衛生士の職業PRを行い、歯科衛生士の役割を理解し、職業選択のひとつとして考えていただくための情報を提供すること。この目的達成のため日本歯科衛生士会の活動助成をいただき事業を展開しました。令和4年度の段階では、まだ新型コロナウイルス感染症拡大防止のためさまざまな制限が生じ、体験型のイベント等の活動が難しい時期でした。しかしそのような状況であるからこそ、口腔の健康管理は必要不可欠であり、対面型以外でも啓発可能なアプローチ方法を検討し実施しましたので、ご報告いたします。



### 啓発活動内容

直接の会話をできるだけ減らすため、伝えたいことを視覚で訴えることができるよう、ポスターの作成に取り組みました。地域住民向けでは、口腔の健康に対し関心を持っていただくためのポスターを作成し、それを活用した啓発活動を行いました。歯科衛生士の職業PRポスターは、ターゲットを中高生とし、できるだけ細かな文字などは避け、歯科衛生士の職業を紹介しつつ

興味を得ていただけるよう、検討を重ねて作成しました。そして少しずつ対面でのイベントが行えるようになった頃に職業体験の実施を行い、①顎模型上でのPMTC(歯のクリーニング)体験、②歯式記入体験、③フッ化物実験コーナーなどの体験型イベントを開催し、歯科衛生士の職業への理解と同時に、楽しくお口の健康について考えていただく機会をつくることができました。残念ながらイベントにはターゲットである中高生の参加は少なく小学生とその保護者の方の参加が主でしたが、参加してくれた子供たちが、この先職業の選択を検討した時に、この経験を思い出してくれたら嬉しいと思っております。

### ポスターの作成と活用

ポスター作成はセンスが問われる作業です。幸いなことに北海道歯科衛生士会にはこのセンスが抜群の役員が多く、とても素人が作成したものとは思えない啓発ポスターがいくつも完成しました。うなずきながら真剣にポスターを見てくださる道民の皆さまにお会いできる時が、作成時の苦勞が報われる瞬間です。お声掛けは極力控えていましたが、そばにすることで質問にも対応でき、しばし道民とのつながりを感じられる時間を過ごすことができました。

このポスターのデータは北海道歯科衛生士会のウェブサイトに掲載し、どなたでも自由にダウンロードして使っていただくようにしています。この助成事業内でチラシサイズに印刷したものを希望する会員に配付し、それぞれの地域で活用してもらうことができました。実際にチラシを活用した会員からのアンケートによると、活用場所は歯科医院、病院、介護予防教室、介護施設な

SUNSTAR
Brand New on June 21<sup>st</sup>

すべてはオーラルケアがつづくために

BUTLERは「プロフェッショナルケア」と「セルフケア」のためのブランドです。適切なオーラルケアが途切れることのない未来を、みなさんと一緒につくっていきます。

詳しくはBUTLER  
ブランドページをcheck

製品についてのご質問・ご不明な点は、下記へお問い合わせください。

©登録商標。BUTLERは登録商標です。

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3番1号 TEL:072-682-4733(受付時間:平日9:00~17:00) FAX:072-684-5669 2407HR作成





どがあり、各会員の活躍の場で上手に使用してくれたようです。チラシ活用時の対象者の反応も8割が「良かった」と回答されており、講話だけで行う支援活動よりもチラシをお渡ししながら行うことで、より支援の効果が得られた様子がうかがえました。チラシの内容についても、「デザインが可愛く内容が分かりやすい」「文字にメリハリがあり、見た目にもインパクトがあった」などの嬉しいご意見もいただきましたが、「高齢者に見やすい字体にしてほしい」などの改善点も聞かれ、新バージョンを作成する際の参考にさせていただきました。

ポスターをウェブサイトアップしたことで、会員だけではなく、外部からの問い合わせも多くなりました。町内会のチラシや地域イベントに使用したいというご希望も多いですが、ポスター本体の貸し出しを希望される市町村もあります。私たちが開催するイベントのみならず、地域の健康啓発の場でも当会のポスターが貼られているのは、とても嬉しい活動となり

ました。口腔の健康について啓発していくことは私たちの使命ですので、今後も道内の様々な地域で活用していただきたいと思っております。

## 得られた成果と課題

### 【地域住民向けの啓発】

- ポスターを作成したことで、イベントでの啓発活動だけでなくウェブサイト等を通して、より広い啓発活動につながった。
- 会員向けに配布したことにより、より多くの道民に情報を届けることができ、内容への意見もいただくことができました。

### 【歯科衛生士の職業PR】

- 職業紹介のポスター展示、イベント内での職業体験を通して「歯科衛生士」を知っていただく機会となった。
- 職業体験イベントへの出展依頼が増えた。
- 重点対象であった中・高校生の来場が少なく、イベントの内容や周知方法が課題となった。



今後も道民への健康維持に貢献するため、お口の健康についてすべての世代に伝えていく役割を担っていきたくと考えております。時代にあった方法で、歯科衛生士が行うことができる「楽しみながらお口の健康を考える機会」を作っていきたいと思っております。

最後にこの助成をいただきました公益社団法人日本歯科衛生士会に深く感謝申し上げます。

(一般社団法人 北海道歯科衛生士会 会長 末永 智美)






**ソニックアー  
プレミアム  
オールインワン  
ブラシ**

HX9091/25  
(ホワイト)

**特長 1 歯垢除去**  
角度のついたブラシがあらゆる角度から歯垢に届く。

**特長 2 スタイン除去**  
毛先一本一本が三角形の形をしているため、気になるスタインを除去。  
トリアングルカット

**特長 3 歯肉ケア**  
ブラシヘッドのサイドの毛束で優しくブラッシングし歯肉をケア。



是非、院内セミナーでご体感下さい。院内セミナーのお申込みはこちらから

●仕様および外観は、製品改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。  
 ●ご使用に際しましては、製品添付の取扱説明書を必ずお読みください。  
 輸入元 株式会社 フリップス・ジャパン  
 販売株式会社 モリタ 大坂本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 ☎664-8650 T 06-6380-2525  
 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 ☎110-8513 T 03-3834-6161  
 お問い合わせ お客様相談センター<歯科医療従事者様専用> T 0800.222.8020(フリーコール)  
[www.dental-plaza.com](http://www.dental-plaza.com)






介  
護  
で  
は  
、  
口  
腔  
ケ  
ア  
も  
大  
切  
だ  
か  
ら  
。  
  
 ら  
く  
ら  
く  
、  
や  
さ  
し  
く  
、  
清  
潔  
に  
。

**エラック ハミガキ**    **エラック ハブラシ 620**  
(医薬部外品) 容量: 90g    S・ES

介護するひと、  
されるひとの笑顔を  
口腔健康でつなぐ



エラック ハミガキ(販売名:エラックハミガキa)メーカー希望小売価格/個:638円(税込) エラック  
 620 S(ソフト)・ES(エクストラソフト)メーカー希望小売価格/個:275円(税込) ●フッ化物  
 高濃度配合品(1450ppmF)の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない所に保管してください。

**ライオン歯科材株式会社**  
〒111-8644 東京都台東区蔵前 1-3-28 TEL.03(6739)9012

ライオン歯科材

<https://www.lion-dent.co.jp/>

# 部分(床)義歯を長持ちさせるための取り扱い・管理のポイント

厚生労働省の「歯科疾患実態調査」では50歳以降では歯を失う人が多くなり、それとともに入れ歯人口が増加していることが発表されています(表1)。義歯は歯を失った人にとって重要な補助具ですが、口腔の機能を回復し、生活の質を向上させる役割を果たすためには、適合性が高く、よく噛める良好な義歯を装着することが大前提となります。この場合の義歯とは失った歯の部分に固定性義歯(ブリッジ)、可撤性義歯(取り外しができる入れ歯)といった補綴物をいいます。ブリッジは口腔内に歯科用セメントにより合着(接着)してしまうため外すことはできず、ご自分の歯と同じように歯ブラシや補助器具を用いて口腔清掃できますが、可撤性義歯の場合は残っている歯には通常の歯磨きを行い、可撤性義歯(入れ歯)はご自身で取り出して個別に管理するという二つの管理を同時に行う必要があるのです。

表1 令和4年歯科疾患実態調査 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合(15歳以上)

| 年齢階級(歳) | 被調査者数(人) | 補綴物を装着している者(人) | 補綴物を装着している者の割合(%) |         |          |          |           |
|---------|----------|----------------|-------------------|---------|----------|----------|-----------|
|         |          |                | 総数                | ブリッジ装着者 | 部分床義歯装着者 | 全部床義歯装着者 | インプラント装着者 |
| 総数      | 2,097    | 1,040          | 49.6              | 32.9    | 20.1     | 8.7      | 3.2       |
| 15~19   | 49       | -              | -                 | -       | -        | -        | -         |
| 20~24   | 52       | -              | -                 | -       | -        | -        | -         |
| 25~29   | 38       | 1              | 2.6               | -       | -        | -        | 2.6       |
| 30~34   | 75       | 5              | 6.7               | 6.7     | -        | -        | 1.3       |
| 35~39   | 83       | 5              | 6.0               | 4.8     | 1.2      | -        | -         |
| 40~44   | 116      | 13             | 11.2              | 10.3    | 0.9      | -        | -         |
| 45~49   | 145      | 21             | 14.5              | 13.1    | 0.7      | 0.7      | 0.7       |
| 50~54   | 155      | 48             | 31.0              | 24.5    | 5.2      | 0.6      | 3.2       |
| 55~59   | 137      | 55             | 40.1              | 31.4    | 8.8      | 0.7      | 2.9       |
| 60~64   | 177      | 91             | 51.4              | 40.1    | 15.3     | 2.8      | 4.5       |
| 65~69   | 220      | 118            | 53.6              | 41.4    | 19.1     | 3.2      | 3.6       |
| 70~74   | 305      | 228            | 74.8              | 53.8    | 34.8     | 9.2      | 5.9       |
| 75~79   | 258      | 200            | 77.5              | 45.3    | 34.9     | 17.8     | 3.9       |
| 80~84   | 182      | 164            | 90.1              | 45.1    | 47.8     | 30.2     | 4.9       |
| 85~     | 105      | 91             | 86.7              | 41.0    | 43.8     | 36.2     | 2.9       |

注) 複数の種類の補綴物を装着している者がいるため、各補綴物の装着者の割合を合計すると100%以上となる年齢階級がある。

出典: 厚生労働省 令和4年歯科疾患実態調査結果の概要 表14

可撤性義歯は部分(床)義歯と総義歯に分類されますが、それぞれ複雑な構造を持っていますので、これを理解することは義歯の取り扱い管理の重要なポイントになります。ここでは可撤性部分(床)義歯についての基本的な構造、特徴、そして適切なケア方法について解説します。

## 部分(床)義歯(パーシャルデンチャー)

部分(床)義歯は、いくつかの歯が残っている場合に使用されます。残っている歯に固定するためのアタッチメント金具やクリップが付いており、周囲の歯を支えにして安定させるように設計されています。

歯肉など土台の部分の部分を床と呼び、金属やレジン(アクリル樹脂)で作られることが一般的です。クリップをクラスプと呼び、多くの場合、金属で作られます。近年、金属のクラスプが見えるのを嫌う傾向にあり、ノンクラスプ義歯も増えてきましたが、これは樹脂の中でも特殊な素材で作られています。樹脂でありながら金属のように強く弾力もあるものです。人工歯にはレジン、ハイブリッドレジン、セラミック素材のものがあります。

**MerSage**  
メルサージュ セルフケアは  
歯科医院でケアした健やかなお口を  
ご家庭でも維持するための歯みがき剤です。

◆ 審美用  
WHITENING CARE

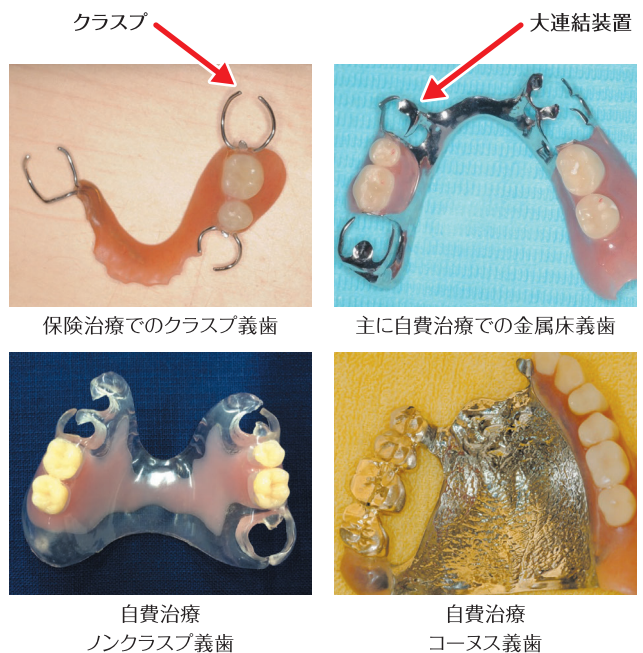
◆ 8つの薬用成分を配合したトータルケア用  
PREMIUM CARE

◆ 歯周病\*予防用  
PERIO CARE

◆ 知覚過敏症状予防用  
HYSCARE SERIES

◆ むし歯予防用  
CLEARGEL SERIES

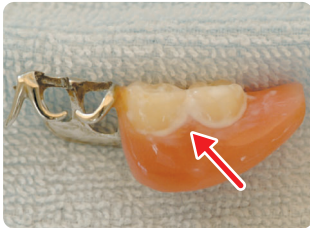
SHOFU 株式会社 松風  
本社 ● 〒605-0983 京都市東山区福福上高松町11  
お客様サポート窓口 (075) 778-5482 受付時間: 9:30~12:00 12:45~17:00 (土日祝除く)





## 義歯のケア方法

### 1 義歯の汚れを確認します



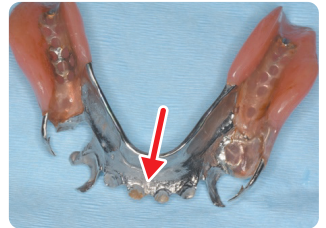
人工歯の周りに歯石がついている



床(ピンク部分)にプラークが沈着



人工歯にステイン(色素沈着)



義歯の裏側に歯石が沈着

### 2 毎日の清掃

義歯は毎食後、まず専用のブラシを用いて流水下で食べかすを洗い流した後に義歯用洗浄剤を使って清掃します。この時は食べかすや汚れを取るというより、義歯についた細菌(デンタルプラーク)を除菌するという意味合いが大きいです。特に就寝前は丁寧に清掃しましょう。\*除菌をする目的で熱湯消毒は絶対にしてはいけません。義歯の変形につながります。



### 3 義歯用洗浄剤

現在、義歯用洗浄剤は市販・歯科専売でたくさんの製品が販売されています。それぞれ有効成分、および洗浄作用によりアルカリ性・酸性・中性があり義歯の材料により使用できる洗浄剤が異なるため、注意が必要です。中性の次亜塩素酸系は細菌や真菌の殺菌効果が高い利点がある反面、金属を腐食、レジン(変色)させます。また、発泡するものとしないものがありますが、この発泡は泡で汚れを落とすのではなく、溶けた洗浄剤を攪拌させるのが目的です。歯石やステインは歯ブラシでは除去できませんので、それぞれ対象素材がアクリル樹脂、金属、セラミックなのか、何を除去するのか目的別洗浄剤を歯科医師、歯科衛生士に指導してもらう必要があります。材質にあった適切な洗浄剤を選んだら、説明書の指示に従った使い方を守りましょう。洗浄液に浸す場合は事前に義歯をよく清掃し、規定の時間を守り浸漬します(メーカーにより5~15分ですが十分にプラークを除去するには2時間くらいが必要ようです)。その後は、必ず、装着時に残留しないように十分に水洗します。

### 4 義歯の保管

義歯は乾燥しすぎると変形する可能性があるため、使用しないときは水に浸して保管するか、湿った状態で保管することが望ましいですが、長時間水に浸したままにしておくとかびや雑菌の繁殖の原因になりますので注意が必要です。

### 5 清潔な容器

義歯を保管する際は常に容器を清潔に保つように意識します。容器も汚染しカビが発生することがあります。

### 6 定期的なチェックと専門的ケア

義歯は時間と共に磨耗や亀裂、破折など必ず劣化が起こります。定期的に歯科医師によるチェックを受け、必要に応じて調整や修理を行ってもらうことで快適な義歯の使用を維持することができます。また、義歯だけではなく、義歯が接触する下部の粘膜も傷、発赤などがないか検査が必要です。そして何より歯科衛生士による専門的な口腔衛生管理を受けることで、残った歯も含めて口腔機能や口腔状況を良好に維持し、健康増進に努めていきましょう。

## まとめ

義歯は、歯を失った人にとって重要な補助具であり、生活の質を向上させるために欠かせない存在であり、義歯を適切に管理することは口腔内の健康を保つために欠かせないプロセスです。毎日の清掃、適切な管理を心がけ、定期チェック・メンテナンスを受けることで義歯の寿命だけではなく、健康寿命の延伸につながる事ができるでしょう。

(公益社団法人 日本歯科衛生士会 診療所委員会)



# この一冊でTooth Wearのことを 紐解いて、理解して、対応できます!



月刊「デンタルハイジーン」別冊

## Tooth Wear

患者背景から探る 酸蝕・摩耗・咬耗への対応

西村耕三 著

- A判/136頁/カラー
- 定価 3,850円(本体 3,500円+税10%)
- 注文コード：390740

詳しい内容は二次元コードのリンク先から!



### 酸蝕 摩耗 咬耗

## Tooth Wearについて、しっかりと理解していますか?

本書は、齲蝕や歯周病に次いで口腔内への影響があるといわれているTooth Wearについて、歯科衛生士が知っておきたい最新の知識とリスクマネジメント(発見・対応・予防)についてまとめています。

Tooth Wearは、健康観が高い患者さんがハイリスクであったり、意外な習慣がトリガーになったりするなど、齲蝕・歯周病とは違った視点が求められます。本書を読んで、しっかりと対応できるようになりましょう!

紐解く!

理解する!

対応する!

